事業名 道路管理									1	マ 佐 古 州	- 18	11000	201	
款		土木		<u> </u>	項	01 道路橋	手川 L 之弗			予算事業	コート 路橋りょう	11680	101	_
	」。 部局		都市整備	<u> </u>	坦	課室名	_	安全課			道路管理			
	目標			^{ョ마} 全かつ快通	51-投動も	***	担	女主味		担当有	担陷官垤	14 =		_
	ロリ オ を策る			全で快適な								枝番	동무 -	1
		集の	l i	PLAN	(AEMI 4) TE	- NH						1/4	9 7	
	務区			受託事務			 治事務(義務的なも	<u>თ</u>)		 務(任意の) ‡ ທ)		
	••••			~104-10			770 7730 (42.1774 7 0			· 100 (± 100 ()			
1243														
事美	業の対	対象	道路利用者											
事第	業の			整備及び道		の除去を行い	ハ、道路を	を管理し良好	子な状態に	呆つことによ	より、道路和	川用者が、安	尼心安全	:1=
活	動概					の現地踏査. ミ施し道路の								
補助金活用なし補助金名														
The state of the s								全部委託			管理	」協働∙協	カ	
73	委託会	先	□ 第31	2クター・財団	団法人 ☑	企業	L	」市民団体	z•NPO法人					
委詞	托業		複写機点検業務委託、道路・水路台帳補正業務委託、道路・水路台帳システム改修業務委託、測量業務委託、不法投棄物等撤去業務委託、不法投棄残土処理委託、違法屋外広告物撤去等業務委託											
会計	十年度	職員	- 人	会計年原業務区										
2.	事詞	集の!	実績	DO										
							単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年月	复
	\			指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目	標
	活動	台帳	整備率				%	100	100	100	100	100	1	00
	実績	道路	パトロール[可数			回	26	26	26	26	26		26
	成果	市民	要望対応件	数			件	161	153	210	100	100	1	00
	実績													
士	小只													
実	具体的													
績														
稹	な成果の													
複	成													
植	成果の説													
稹	成果の説						単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用着	· 田
禎	成果の説			予算額	į		単位	4年度 38,047	5年度 40,493	6年度 59,613		7年度 40,151	不用名 10,78	
	成果の説明			予算額										9
	成果の説明	財湯		決算額			千円	38,047	40,493	59,613			10,78	9 车
顏	成果の説明事業	財派内記		決算額	i 设財源	首負担等)	千円	38,047 30,118	40,493 33,639	59,613 48,824		40,151 -	10,78	9 车
	成果の説明事業		特定則	決算額 一 _角	i 设財源 i助、利用者		千円 千円 千円	38,047 30,118 30,085	40,493 33,639 33,601	59,613 48,824 48,791		40,151 - 40,124	10,78	9 率
	成果の説明事業費		計 会計年	決算額 一 _舶 才源(国県補	を 受財源 i助、利用者 フルタイム)	千円 千円 千円	38,047 30,118 30,085 33	40,493 33,639 33,601 38	59,613 48,824 48,791		40,151 - 40,124 27	10,78	9 率

事業名			予算事業コード 1168001	
款 08 土木		道路橋りょう費		
部局名	-	型の	担当名道路管理担当	
	2 安全かつ快適に移動ができ		1234 超路自建程3	
 施策番号	1 安全で快適な道路の整備	<u>'</u> ର	枝番号	2 1
			【文件》	י כ
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	FIM CHECK			評価
	①【今後の必要性】行政の役割に対		ナ喜いですか	пт іш
必要性			5 少なくなっている	Α
	②【市の役割】事業の実施主体とし	23.1.2.3.	7 9444 7 6618	
			・ 他の主体が適切	Α
公共性				
	③【市場性】事業は民間市場では十			Α
			: 民間でも十分提供可能である	
	④【コスト削減】事業のコスト削減の			В
経済性			; 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切			Α
			: 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段			Α
			: 改善の余地がある 	
	⑦【費用対効果】投入コストに対して			Α
			こ あまり効果がない	
効率性	8 【業務改善】費用対効果、時間対 または改善の余地に		・務プロセスの改善を行っていますか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Α
劝平压	ı		; ICT等は活用していない	^
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機	機関との連携・統合による効率化の	可能性はありますか	
	A ほとんどない B	ある程度あるC	; 大いにある	Α
施策への	⑩【達成度】施策の目標達成に向け	ナて事業の貢献の度合いはどうです	·か	
貢献度	A 貢献している B	やや貢献しているC	; あまり貢献していない	Α
事業の課題	市道の境界未確定箇所を解消し、道 要望対応は全ての解消には至ってい		0	
1. 今後のブ	向性 ACTION			
今後の方向性	□ 拡充 ☑ 継続	□ 縮小・見直し	□ 休止·廃止	
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等			ĭら、継続的にデータを更新して精度を₹ ⋾民からの通報により迅速に対応を行し	

	事業	名	G 道路維持 予算事業コード 1171001											001
款	80	土木	費			項	01 道路標	≶りょう費			目 02 道	鱼路維持費		
i	部局	名	都	市整備	部	П	課室名	道路:	安全課		担当名	工務担当		
	目標	像		2 安:	全かつ快適に移	動がで	できる							
施	策都	番号		安全	全で快適な道路の	の整備	莆						枝看	番号 2
1.	事第	美の	概要	į	PLAN									
事	務区	分		法定领	受託事務		✓ É	治事務(、義務的なも	の)	□ 自治事	事務(任意の)もの)	
根拠	见法令	令等	道路	法										
事第	美の対	对象	市内	在住在	勤者及び和光市追	利用	者							
事第	美の目	目的	道路	及び道は	路付属物(側溝•街	路樹	等)を適正	に管理し	、快適な道	路空間を維	挂持し、良好	な住環境の	7推進に寄り	与する。
	動概		市道	の路面	清掃、側溝清掃、	直樹帯	特管理を行	う。						
	力金河			なし	補助金名									
	施形			□ 市による単独事業 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 協働・協力 □ 第3セクター・財団法人 □ 企業 □ 市民団体・NPO法人										
73	经託 分	ŧ		第3セ	2クター・財団法人	⊻ 1	企業		」市民団体	▼•NPO法 人				
委討	£業 務			清掃業 業務委	務委託(単契1~3 託他 -	3)、側	溝清掃業	務委託(高	高圧洗浄)(単価契約そ	` 01~3)、	市道2002	号線他ログ	プランター
会計	·年度 ⁱ	職員	_	- 人 会計年度職員 業務内容										
2.	事簿	美の	実績	t	DO									
								単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	\ -			指標名 				. –	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	路面	i清掃	延長				m	27,370	24,000	27,770	27,770	20,000	20,000
	実績	側溝	清掃	延長				m	358	559	787	787	1,500	1,500
	륪	植樹	帯管	理延べ	面積			m¹	40,824	44,297	38,334	38,334	70,000	70,000
	-	剪定	本数					本	1,503	859	1,235	1,235	1,600	1,600
実	124				0m、側溝清掃 78									高木の伐
(積	具体的な成果の説明	1 本で	11 2/	~。 但 따	その維持について お	* (E.)	·宋 4元 V / I ⁻ I] _		対策にでな		- 中間を題し	。 - (美心し)。	-0	
								単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
					予算額			千円	93,673	132,167	131,693		133,284	3,373
	事業				決算額			千円	92,046	126,541	128,320		_	執行率
費	費	財			一般財源			千円	92,046	126,541	116,820		133,284	97.4%
月用		内	九	特定則	才源(国県補助、利	用者	負担等)	千円	0	0	11,500		0	
	人				会計年度職員数			人	0	0	0		0	
	件				会計年度職員数			人	0	0	0		0	
	費				計年度職員人件費	Þ		千円	0	0	0		0	

事業名	道路維持		予算事業コード 1171001							
款 08 土木費	B	項 01 道路橋りょう費	目 02 道路維持費							
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名工務担当							
目標像	2 安全かつ快適に移	動ができる								
施策番号	1 安全で快適な道路の	の整備	枝番号 2							
3. 事業の評	P価 CHECK									
		評価項目	評価							
必要性	①【今後の必要性】行政の	役割に対する市民の期待及び需要の程度	は高いですか B							
2 .4	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている							
	②【市の役割】事業の実施	主体として市が適切ですか	A							
公共性	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切 (C 他の主体が適切							
AXI	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか									
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である (C 民間でも十分提供可能である A							
	④【コスト削減】事業のコス	ト削減の余地はありますか								
∞≒	A ほとんどない	B ある程度ある (C 大いにある							
経済性	⑤【コスト】受益者負担の水	k準は適切ですか	_							
	A 適切である	B 引き上げる余地がある (A C 引き下げる余地がある							
市業の日本	⑥【実施方法】現在の事業	実施手段・方法は最も効率的ですか								
事業の見直し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である (A C 改善の余地がある							
	⑦【費用対効果】投入コスト	トに対して得られる効果は適切ですか								
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない							
効率性		、時間対効果に対してICT等の活用による きの余地はありますか	業務プロセスの改善を行っていますか A							
刈平注	A 行っている	1	C ICT等は活用していない							
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との連携・統合による効率化の								
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある							
 施策への	⑩【達成度】施策の目標達	 成に向けて事業の貢献の度合いはどうです								
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している	A C あまり貢献していない							
事業の課題		・ 間及び通行の安全確保への影響が出ており 理を継続することが難しい状況にある。	」、作業の人件費等も高騰しているため、限られ							
4. 今後の方	向性 ACTION									
今後の方向性	□ 拡充	☑ 継続 □ 縮小・見直し	□ 休止·廃止							
	和光市街路樹マネジメント方	5針(R5.5月策定)に則り、街路樹及び植樹帯	帯を管理していく。							
今後の方向性										
の判断理由・ 今後の取組等										

	事業	名	道路補修								予算事業	ミコード	11730	001
款	80	土木	費			項	01 道路相	喬りょう費			目 02 道	路維持費		
	部局	名	都市	卜整備	·····································		課室名	道路	安全課		担当名	工務担当		
	目標	像	2	安全	をかつ快適	に移動な	「できる							
旅	策	番号	1	安全	とで快適な	道路の整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						枝番	5号 3
1.	事	集の	概要		PLAN									
事	務区	分		法定受	是託事務		☑ É	治事務(義務的なも	の)	□ 自治事	₮務(任意の)もの)	
根拠	処法*	令等	道路法	ţ										
事訓	業の対	対象	市内在	E住在鄞	動者及び和語	光市道利	用者							
事第	業の	目的	道路か	「適切」	こ維持管理で	され、道路	が起因とな	る事故の	心配が無く	利用するこ	とができる。	ようにする。		
活	動概	要	市道維	掛とし	ての舗装補	修、步道	の段差解消	、道路側	溝の補修工	事を行う。				
補具	力金	舌用	đ	あり	補助金名	衬	会資本総	合交付	金(埼玉!	県道路計	画)、道路	各メンテナ	ンス事業	補助金
実	施形	態		市によ	る単独事業		一部委託		全部委託	ŧ	□ 指定	管理	□協働・協	カ
7.73	季託	先		第3セ	クター・財団	法人 ☑	企業		市民団体	▶• NPO法人				
委記	毛業	務名	市道408号線舗装修繕工事他											
会討	十年度	職員	_	- 人 会計年度職員 業務内容										
2.	事	集の	実績		DO									<u> </u>
									4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
					指標名			単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活	舗装	補修コ	 L事延:				m	3,381.9	3,124	1,750	1,750	1,000	1,000
	動実	结址	修繕賃	有正数				箇所	30	29	26	26	60	60
	績 成													
	果実	緊急	. 箇所数	X				箇所	54	45	47	47	60	60
	積													
実績	具	限ら	れた予	算の中	中で、舗装修	·繕 26筐	ī所、緊急工	事 47箇	所を実施す	ることで、	車両、歩行	者の通行の	安全性を高	らめた。
	体的													
	な成果													
	の説													
	明													
								224 / 1	4	p	0 		9 fr rt	7 m+1
					7 hr.+T			単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	事				予算額			千円	207,623	254,162	178,327		185,655	5,970
	業				—————————————————————————————————————			千円	198,765	229,409	172,357		-	執行率
費	費	財内	=0 -	44-4		財源	W # 3 P # 5	千円	100,240	107,799	107,008		86,005	96.7%
用		rs			才源(国県補 			千円	98,525	121,610	65,349		99,650	
	人				度職員数(人	0	0	0		0	
	件費		£		度職員数(/		4)	人	0	0	0		0	
				会	計年度職員	人件費		千円	0	0	0		0	

事業名	道路補修	予算事業コード 117300	1								
款 08 土木費	費 項 01 道路橋りょう費	目 02 道路維持費									
部局名	都市整備部 課室名 道路安全課	担当名 工務担当									
目標像	2 安全かつ快適に移動ができる										
施策番号	1 安全で快適な道路の整備	枝番兒	号 3								
3. 事業の評	PM CHECK										
	評価項目		評価								
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の利	程度は高いですか	В								
2001	A 高まっている B 変わらない	C 少なくなっている									
	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか		Α								
公共性	A 市が最適である B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	^								
AXI	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスで	すか	Α								
	A 民間では提供困難である B 一部民間でも提供可能であ	る C 民間でも十分提供可能である	^								
	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか		Α								
経済性	A ほとんどない B ある程度ある	C 大いにある	^								
作	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか										
	A 適切である B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	Α								
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか		Α								
ず未び光直し	A 最も効率的である B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	^								
	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか		Α								
	A 非常に効果が高い B ある程度効果がある	C あまり効果がない	^								
共 소 싸	(業務改善)費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用にある。 または改善の余地はありますか。	よる業務プロセスの改善を行っていますか 									
効率性	A 行っている B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	Α								
	⑨ 【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率・	化の可能性はありますか									
	A ほとんどない B ある程度ある	C 大いにある	Α								
施策への	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどう	うですか									
貢献度	A 貢献している B やや貢献している	C あまり貢献していない	Α								
事業の課題	修繕箇所によっては、暫定的な修繕対応の場合もあるが、今後も早 事を実施する必要がある。		りにエ								
4. 今後の方	方向性 ACTION										
今後の方向性	□ 拡充 □ 継続 □ 縮小・見正	直し									
今後の方向性	引続き道路状況の調査を実施し、より効果的な維持補修に努める。 :										
の判断理由・ 今後の取組等											

-	事業	名	直通	各整備							予算事業コード 1174001			
款	08	土木	費			IJ	01 道路標	感りょう費			目 03 道	路新設改良		
	部局	名	都下	†整備	 部		課室名	道路	安全課		担当名	工務担当	、道路管理	捏担当
	目標	像	2	安全	全かつ快適	に移動	ができる							
於	速策者	番号	1	安全	全で快適な	道路の	 整備						枝番	号 4
1.	事業	集の	概要		PLAN									
事	務区	分		法定受	き託事務		☑ É	治事務(義務的なも	の)	□ 自治事	務(任意の	もの)	
根拠	処法~	令等	道路法	<u> </u>										
事業	業の対	対象	道路和	削用者及	及び周辺住」	民								
事業	業の目	目的	道路捷	太幅、步	道の設置に	こより安全	≧な道路となっ	っているよ	うにする。					
活	動概	要	道路0	D拡幅・	歩道の設置	工事を行	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙							
補具	力金	舌用		よし	補助金名									
実	施形	態	\checkmark	市によ	る単独事業		一部委託		全部委託	E	□ 指定	管理	□協働・協	カ
73	委託	先		第3セ	クター・財団	法人 □	企業		市民団体	k•NPO法人				
委記	毛業 豬	務名	名											
会計	十年度	職員	_	人	会計年度 業務内									
2.	事訓	集の	実績		DO									
								32 /L	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
					指標名			単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	道路	改良级	 正長				m	337	111	153	153	50	50
	実績	道路	肝地質	買収面				m²	57	6	75	75	30	30
	成	歩道	整備3	正長				m	17	20	19	19	50	50
	果実													
	績	道路	抗幅月	用地とし	て、75㎡を	買収した	0							
実績		省 段	水白-	T車を1	53m宝施I:	た(うた歩	送 道整備 19n	(今まべ)	歩行考等 ℓ)安全な通	行を日的と	て宝施した	: -	
	具体	ᄺᄧ	·~.\	— → C I		- () 9 9	左北州 1911	··□ • / · ·	∠ 11日40	・スエゆ@゛	, E H 1) C (ノく大心した	_0	
	竹的な													
	成													
	果の													
	の説													
	の													
	の説													
	の説							単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	の説				予算額			単位	4年度 167,870	5年度 113,890	6年度		7年度 36,826	不用額 6,665
	の説明				予算額決算額									
	の説明	財	源		決算額			千円	167,870	113,890	40,000			6,665
費用	の説明事業	財内		特定財	決算額	財源	者負担等)	千円	167,870 147,475	113,890 93,336	40,000 33,335		36,826	6,665 執行率
費用	の説明事業費		訳		決算額 一般	b財源 助、利用		千円 千円 千円	167,870 147,475 22,132	113,890 93,336 13,236	40,000 33,335 12,335		36,826 - 18,026	6,665 執行率
	の説明事業		訳	会計年	決算額 一般 †源(国県補	対源 助、利用 フルタイ <i>1</i>	۲)	千円 千円 千円	167,870 147,475 22,132 125,343	113,890 93,336 13,236 80,100	40,000 33,335 12,335 21,000		36,826 - 18,026 18,800	6,665 執行率

事業名	道路整備		予算事業コード 117400	1								
款 08 土木費	3	項 01 道路橋りょう費	目 03 道路新設改良費									
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名工務担当、道路管理技	担当								
目標像	2 安全かつ快適に移動	動ができる										
施策番号	1 安全で快適な道路の	の整備	枝番-	号 4								
3. 事業の評	CHECK											
		評価項目		評価								
必要性	①【今後の必要性】行政の	役割に対する市民の期待及び需要の程	度は高いですか	В								
20'41	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている									
	②【市の役割】事業の実施	主体として市が適切ですか		Α								
公共性	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	^								
AXI	③【市場性】事業は民間市	場では十分に提供されないサービスです	か	Α								
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	^								
	④【コスト削減】事業のコス	ト削減の余地はありますか		Α								
経済性	Α ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	^								
性別江	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか											
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	☆地がある C 引き下げる余地がある									
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業	実施手段・方法は最も効率的ですか		Α								
争未の元旦し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	^								
	⑦【費用対効果】投入コスト	トに対して得られる効果は適切ですか		Α								
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	^								
共·本·W		、時間対効果に対してICT等の活用による の余地はありますか	る業務プロセスの改善を行っていますか									
効率性	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	Α								
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との連携・統合による効率化	の可能性はありますか									
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	Α								
施策への	⑩【達成度】施策の目標達	成に向けて事業の貢献の度合いはどうて	ですか									
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	Α								
	ウ	エレナスケディトクル / S - R Uk の TE-/R / S##										
事業の課題	安全のために追路整備を必要	要とする固所は多いか、用地の取得か類	むく、計画的な整備が難しい状況にある。									
4. 今後の方	向性 ACTION											
今後の方向性	□拡充	② 継続 □ 縮小・見直	し									
	地域の開発や交通量の変化	を踏まえ、機会を捉えて土地所有者に交	を 渉を行い、道路用地の取得に努めていく。	>								
今後の方向性												
の判断理由・ 今後の取組等												

17	事業	名	水品	各管理	・改修						予算事業コード 1175002			002
款	80	土木	費			項	02 河川	費			目 01 河	川総務費		
i	部局	名	都市	卞整備	部		課室名	道路:	安全課		担当名	工務担当	İ	
	目標	像	2	安全	をかつ快適	に移動が	できる							
施	飯策都	番号	1	安全	全で快適な	道路の整	備						枝看	番号 5
1.	事美	(人)	概要		PLAN									
事	務区	分		法定受	受託事務		✓ E	自治事務(義務的なも	の)	□ 自治事	務(任意の)もの)	
根挑	処法⁴	令等	道路》	去										
事第	業の対	対象	市内在	主住在第	勘者									
事第	美の 目	目的	豪雨時	寺におし	へて雨水の気	0.理が適切	こになされる	ようにす	る。					
	動概		水路0	の整備の	及び清掃を行	すう 。								
	力金流			はし	補助金名									
	施形	_		-	る単独事業		一部委託		全部委託		□ 指定	管理	□協働・協	カ
3	美託 分	ŧ		第3セ	クター・財団	法人 🗹	企業		」市民団体	♭• NPO法人				
委託	壬業	務名 越戸川親水施設維持管理業務委託、水路1号線他維持管理業務委託他												
会計	年度	職員	-	人	会計年度 業務内									
2.	事美	美の	実績		DO									
								単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	\ -				指標名			. –	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	水路	浚渫	延長				m	317.5	472	330	330	500	500
	実績	除草	面積					m [°]	11,323.9	5,242	11,969	11,969	10,000	10,000
	成果	水路	改修	延長				m	55.8	27	6	6	50	50
	実													
	績	水路	浚渫	エ事を3	330m、水路	青掃∙除草	業務を11,9	<u> </u> 69㎡、水¦	路改修工事	を6m行っ <i>t</i>	. .			
実績	具体的な成果の説明													
								単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	+				予算額			千円	12,316	18,055	19,144		14,473	62
	事業				決算額			千円	12,201	17,881	19,082		-	執行率
費	費	財力		14		財源	, A 1= 5.	千円	12,201	17,881	19,082		14,473	99.7%
用		ונייו			才源(国県補			千円	0	0	0		0	
	人				度職員数(人 ·	0	0	0		0	
	件費		ź		度職員数(/		.)	人 	0	0	0		0	
				会	計年度職員	人件費		千円	0	0	0		0	

事業名	水路管理・改修		予算事業コード 117500)2						
款 08 土木登	ŧ.	項 02 河川費	目 01 河川総務費							
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名工務担当							
目標像	2 安全かつ快適に移	動ができる								
施策番号	1 安全で快適な道路	の整備	枝番	号 5						
3. 事業の評	F価 CHECK									
		評価項目		評価						
必要性	①【今後の必要性】行政の)役割に対する市民の期待及び需要の	程度は高いですか	В						
2031	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている							
	②【市の役割】事業の実施	n主体として市が適切ですか		A						
公共性	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	刃 C 他の主体が適切							
AXIL	③【市場性】事業は民間市	5場では十分に提供されないサービスで	ですか	A						
	A 民間では提供困難である	る B 一部民間でも提供可能であ	5る C 民間でも十分提供可能である	^						
	④【コスト削減】事業のコス	スト削減の余地はありますか		A						
経済性	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	^						
性別江	⑤【コスト】受益者負担の	D水準は適切ですか								
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	Α						
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業	美実施手段・方法は最も効率的ですか		A						
事業の光直し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	^						
	⑦【費用対効果】投入コス	トに対して得られる効果は適切ですか		A						
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない							
共 소 사		₹、時間対効果に対してICT等の活用に 善の余地はありますか	よる業務プロセスの改善を行っていますか	_						
効率性	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	A						
	⑨【事業規模の縮小】他事		区化の可能性はありますか							
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	Α						
——— 施策への	⑩【達成度】施策の目標達	 達成に向けて事業の貢献の度合いはど	うですか							
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	Α						
事業の課題		等を実施しなければ、雨水排水に支障	をきたしてしまうため、実施時期を含めた効果	率的な対						
	応が求められる。									
4. 今後の方										
今後の方向性		✓ 継続☐ 縮小・見								
	水路の状況把握に努め、文 	障箇所を速やかに対策を講じ、良好な	状態を維持する。							
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等										

17	事業	名	都市計画業務									予算事業コード 1177040			
款	80	土木	費			項	03	都市計	一画費			目 01 都	3市計画総	務費	
i	部局	名	都	市整備	i部		課	室名	都市	整備課		担当名	計画担当	á	
	目標	像	2	安全	全かつ快適	に移動か	でき	る							
施	飯策者	番号	1	安全	全で快適な	道路の整	備							枝看	番号 6
1.	事第	(人)	概要		PLAN										
事	務区	分		法定受	受託事務			□自	治事務(義務的なも	の)	☑ 自治事	務(任意(のもの)	
根挑	処法令	令等	なし												
事第	業の対	付象	未整体	備都市	計画道路区	域内及び原	围辺σ)地権和	者、関係	権利者及び	市民				
事第	美の 目	目的			4号和光バインの快適に利						市計画道路	各諏訪越四 [、]	ソ木線は、	地権者等の	協力を得
活	動概	要	都市記	計画道記	路諏訪越四	ツ木線の名	圣種調	查設討	†を行う。						
	力金河		- 7	なし	補助金名										
	施形			• • •	る単独事業			委託		全部委託	ŧ	□ 指定	管理	□協働・協	カ
3	美託 分	ŧ		第3セ	クター・財団	法人 ☑	企業			市民団体	▼NPO法 人				
委部	七業 和		御印計画追避政が認度は100円 100円 10												
会計	年度	職員	-	人	会計年度 業務内										
2.	事美	(人)	実績		DO						<u>.</u>			_	
									単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
					指標名				+ -	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	都市	計画:	道路諏	訪越四ツ木	線の調査	设計進	抄率	%	7	9	25	25	30	94
	実績														
	成														
	果実														
	績														
実績	具体的な成果の説明	令和	16年度	まは、道	1路設計及び	、設計に必	要 <i>と</i> た	なる地質							
									単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	声				予算額				千円	25,293	27,784	28,272		5,915	6,071
	事業				決算額				千円	23,134	26,620	22,201			執行率
費	費	財力		4+		以財源	v # !=	l fefe \	千円	23,134	26,620	22,201		5,914	78.5%
用		ir i	ш/		才源(国県補			!寺)	千円	0	0	0		1	
	人				度職員数(人	0	0	0		0	
	件費		=		度職員数(/		()		人	0	0	0		0	
				会	計年度職員	人件費			千円	0	0	0		0	

事業名	都市計画業務			予算事業コード	1177040						
款 08 土木登		項 03 都市計	画費	目 01 都市計画総務費	B. C.						
部局名	都市整備部	課室名	都市整備課	担当名 計画担当							
目標像	2 安全かつ快適に移動	動ができる									
施策番号	1 安全で快適な道路の	の整備			枝番 号 6						
3. 事業の評	P価 CHECK										
			評価項目		評価						
必要性	①【今後の必要性】行政の	役割に対する市民	民の期待及び需要の程	度は高いですか	А						
20女工	A 高まっている	B 変わら	ない	C 少なくなっている	^						
	②【市の役割】事業の実施	主体として市が通	適切ですか		А						
公共性	A 市が最適である	B 市と他	の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	^						
AXII	③【市場性】事業は民間市	場では十分に提供	供されないサービスです	か	А						
	A 民間では提供困難である	B 一部民	2間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能で	ある						
	④【コスト削減】事業のコス	ト削減の余地はあ	ありますか		А						
奴这州	A ほとんどない	B ある程	度ある	C 大いにある	^						
経済性	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか										
	A 適切である	B 引き上	げる余地がある	C 引き下げる余地がある	Α						
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業	実施手段・方法は	は最も効率的ですか		А						
争未の元担し	A 最も効率的である	B ある程	度効率的である	C 改善の余地がある	^						
	⑦【費用対効果】投入コスト	トに対して得られる	る効果は適切ですか		А						
	A 非常に効果が高い		度効果がある	C あまり効果がない							
ᆠᆠ		、時間対効果に対 の余地はあります		る業務プロセスの改善を行ってし							
効率性	A 行っている		, ル 善の余地がある	C ICT等は活用していない	В						
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との	連携・統合による効率化	の可能性はありますか							
	A ほとんどない	B ある程	 !度ある	C 大いにある	В						
<u>施策への</u>	⑩【達成度】施策の目標達	成に向けて事業の	の貢献の度合いはどうて	ぎすか							
貢献度	A 貢献している	B やや貢	献している	C あまり貢献していない	A						
	* ^ - !! \			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. =						
		ため、早期に都巾	7計画道路諏訪越四ツ7	、線の整備を行うことが必要で を	5る。 						
4. 今後の方											
今後の方向性		☑ 継続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□縮小・見直		<u>L</u>						
	都市計画道路諏訪越四ツ木	線の整備推進に	向け、引き続き調査設計	†を進めていく。							
今後の方向性 の判断理由・ 会後の取組等											

	事業	名	駅ī	駅南口広場維持管理 予算事業→ード 1183002 1											
款	08	土木	費			項	03 者	都市計画	画費			目 05 往	路事業費		
i	部局	名	都	市整備	部		課	室名	道路	安全課		担当名	工務担当	á	
	目標	像	2	安全	全かつ快適	に移動が	できる	5							
旅	飯策都	番号	1	安全	全で快適な	道路の整	備							枝看	番号 7
1.	事美	美の	概要		PLAN										
事	務区	分		法定受	受託事務			☑ 自治	台事務(義務的なも	の)	□ 自治事	幕務(任意の	のもの)	
根挑	処法⁴	令等	道路》	去											
事第	業の対	対象	広場	利用者											
事第	美の 目	目的	交通	幾関が	利用しやすし	で環境にす	る。								
	動概		駅南口	コ駅前の	広場の補修.	及び改修、	広場清	情掃、ト	イレ清技	帚、除草等、	維持管理	を行う。			
補耳	力金河	舌用	- 7	なし	補助金名										
	施形	_		-	る単独事業		一部氢	委託		全部委託	ŧ	□ 指定	管理	□協働・協	カ
73	長託 分	ŧ		第3セ	クター・財団	法人 🗹	企業			市民団体	k•NPO法人				
委託	七業 和	答名	南口縣	駅前広均	易多機能トイ	レ修繕他									
会計	年度	職員	_	人	会計年度 業務内										
2.	事美	美の	実績		DO										
									単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	\ -				指標名				. —	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	修繕	件数						件	2	5	8	8	5	5
	実績	剪定	! 及び	除草件	数				件	3	5	2	2	2 2	2
	成果	緊急	工事	件数					件	0	0	0	C	0	0
	実														
	績				持管理として				及び樹	木管理を行	テっている。				
実績	具体的な成果の説明	修 結		いては、	広場のトイ	ノの修繕を	・実施し	.π							
									単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
					予算額				千円	6,477	6,631	6,850		7,032	1,072
	事業				決算額				千円	5,745	6,261	5,778			執行率
弗	費	財			一般	対源			千円	5,745	6,261	5,778		7,032	84.4%
費用		内	力品	特定則	才源(国県補	助、利用者	負担等	等)	千円	0	0	0		0	
	人				度職員数(人	0	0	0		0	
	件費		=		度職員数(ノ゙		.)		人	0	0	0		0	
	54			会	計年度職員	人件費			千円	0	0	0		0	

事業名	駅南口広場維持管理				83002
款 08 土木登		項 03 都市計	画費	目 05 街路事業費	
部局名	都市整備部	課室名	道路安全課	担当名工務担当	
目標像	2 安全かつ快適に移	動ができる			
施策番号	1 安全で快適な道路	の整備			枝番号 7
3. 事業の評	CHECK				
			評価項目		評価
必要性	①【今後の必要性】行政の	役割に対する市	民の期待及び需要の程	度は高いですか	В
2031	A 高まっている	B 変わら	ない	C 少なくなっている	
	②【市の役割】事業の実施	主体として市が道	適切ですか		А
公共性	A 市が最適である	B 市と他	也の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	^
ANII	③【市場性】事業は民間市	場では十分に提	供されないサービスです	か	А
	A 民間では提供困難である	5 B 一部目	民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	^
	④【コスト削減】事業のコス	ト削減の余地は	ありますか		А
経済性	A ほとんどない	B ある程	き きょうしょう きょうしょ しゅうしょ しゅうしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	C 大いにある	^
性/月 1工	⑤【コスト】受益者負担のス	k準は適切ですか	N		А
	A 適切である	B 引き上	: げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業	実施手段・方法	は最も効率的ですか		А
事本の元直し	A 最も効率的である	B ある程	星度効率的である	C 改善の余地がある	^
	⑦【費用対効果】投入コス	トに対して得られ	る効果は適切ですか		А
	A 非常に効果が高い		星度効果がある	C あまり効果がない	
効率性		は、時間対効果に きの余地はありま		る業務プロセスの改善を行っていま	すか A
が十二	A 行っている	1	(善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との	連携・統合による効率化	の可能性はありますか	_
	A ほとんどない	B ある科] 度ある	C 大いにある	^
施策への	⑩【達成度】施策の目標達	成に向けて事業	の貢献の度合いはどうて	ですか	
貢献度	A 貢献している	B ややi	貢献している	C あまり貢献していない	A
事業の課題	経年による劣化も見られるこ	ことから、より一層	効率的な運営が求めら	nā.	
4. 今後の力	向性 ACTION				
今後の方向性		☑ 継続	□ 縮小・見直し	し □ 休止・廃止	
	適正な事務執行に努めたい	· o			
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等					

-	事業	名	街路	事業						予算事業コード 1183010			
款	08	土木	費		項	03 都市計	十画費			目 05 往	路事業費		
	部局	名	都市	Ě備部		課室名	道路	安全課		担当名	工務担当	_ 	
	目標	像	2	安全かつ快適	に移動が	できる			•				
旅	5策	番号	1	安全で快適な	道路の整	··備						枝香	番号 8
1.	事業	集の	 概要	PLAN									
事	務区	分	□ 注	定受託事務		☑ É	治事務(義務的なも	の)	□ 自治導	事務(任意の	のもの)	
根拠	処法~	令等	都市計画	法									
事業	業の対	対象	市内在信	主在勤者及び和:	光市道利月	用者							
事第	業の目		都市に 与する。	ける円滑な交通	通の確保、	豊かな公共	空間を備	えた市街地	形成を図り	り、安全で快	過な都市	生活や都市	活動に寄
活	動概	要	都市交通	植施設機能等の	推進を行う	0							
補具	力金河	舌用	なし										
実	施形	態	☑ †	による単独事業		一部委託		全部委託	ŧ	□ 指定	管理	☑協働・協	カ
73	委託分	先	□ 第	3セクター・財団	は人□	企業		市民団体	k∙NPO法人				
委託	毛業系	務名											
会討	十年度	職員	_	人 会計年度 業務内									
2.	事訓	集の	実績	DO					_				
							単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				指標名			甲型	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	全国	街路事	美促進等に関す	る活動		□	1	1	1	1	1	1
	実績	駅前	広場整備	請検討活動			回	_	_	-	_	1	1
	成果	都市	ī交通拠.	ā			箇所	_	_	_	_	1	1
	実績												
実	124			月26日開催の安				国大会(要	望活動)に	和光市長出	席。		
入績	具体的な成果の説明	馬代 則	仏''	権検討活動は 令	和 / 年 度 以	以降に実施・	予 疋。						
							単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
				予算額			千円	27	27	27		24,579	0
	事			決算額			千円	13	27	27		-	執行率
	業費	財	源	一般	財源		千円	13	27	27		17,214	100.0%
費田	未 費	財力	=□	一般 定財源(国県補		首負担等)	千円	13 0	27 0	27 0		17,214 7,365	100.0%
費用	費		訳特		助、利用者							<u> </u>	100.0%
	未費 人件費		訳特	定財源(国県補	助、利用者フルタイム)	千円	0	0	0		7,365	100.0%

事業名	街路事業		予算事業コード 118301	0
款 08 土木費	項(03 都市計画費	目 05 街路事業費	
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名 工務担当	
目標像	2 安全かつ快適に移動がで	きる		
施策番号	1 安全で快適な道路の整備		枝番	号 8
3. 事業の評	CHECK			
		評価項目		評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に	二対する市民の期待及び需要の程度は	高いですか	В
必安任	A 高まっている	B 変わらない C	少なくなっている	D
	②【市の役割】事業の実施主体と	:して市が適切ですか		Α
公共性	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切 C	他の主体が適切	A
A A E	③【市場性】事業は民間市場では	t十分に提供されないサービスですか		Α
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である C	民間でも十分提供可能である	A
	④ 【コスト削減】事業のコスト削減	の余地はありますか		Α
経済性	Α ほとんどない	B ある程度ある C	大いにある	A
在海往	⑤【コスト】受益者負担の水準は	適切ですか		_
	A 適切である	B 引き上げる余地がある C	引き下げる余地がある	Α
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施引	段・方法は最も効率的ですか		Α
争未の元旦し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である C	改善の余地がある	^
	⑦【費用対効果】投入コストに対	して得られる効果は適切ですか		Α
	A 非常に効果が高い		あまり効果がない	^
効率性	⑧ 【業務改善】費用対効果、時間 または改善の余数	対効果に対してICT等の活用による業績 地はありますか	務プロセスの改善を行っていますか 	Α
<i>≫</i> +1±	A 行っている	B まだ改善の余地がある C	ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他	し機関との連携・統合による効率化の可	能性はありますか	^
	Α ほとんどない	B ある程度ある C	大いにある	Α
施策への	⑩【達成度】施策の目標達成に向	引けて事業の貢献の度合いはどうですか	١	Α
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している C	あまり貢献していない	^
事業の課題	安全で快適な都市生活や都市活動	かを推進するため、交通事業者等と継続	的な協議が必要である。	
4. 今後の方	向性 ACTION			
今後の方向性	□ 拡充 ☑ 継続	売 □ 縮小・見直し	□ 休止·廃止	
	社会変化を考慮して、駅前広場や	交通拠点など都市活動を支える施設を	整備・維持に努める。	
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等				

17	事業	名	外班	小 環蓋掛け上部(丸山台地区)利用 予算事業コード 1016025											
款	02	総務	費			項	01 糸	総務管	理費			目 08 企	画費		
i	部局	名	企區	画部			課	室名	資産	戦略課		担当名	計画推過	進担当	
	目標	像	2	安全	eかつ快適に	移動が	できる	5							
施	飯策都	番号	2	利值	更性の高い地	域公共	交通	網の刑	彡成					枝翟	番号 1
1.	事美	美の	概要		PLAN									•	
事	務区	分		法定受	· 泛託事務] 自	治事務(義務的なも	の)	☑ 自治事	務(任意	のもの)	
根抄	処法 4	令等	なし												
事第	業の対	対象	市民及	及び公共	共交通の利用	者									
事第	美の 目	目的	外環」	上部丸Ⅰ	山台地区約9,3	800m1==	いて	、遊休	資産の	有効活用を	図る。				
	動概	.安			山台地区利活 食討等を行う。 	用の実現	性の	確認を	·踏まえ ⁻	て、活用方針	計、導入機能	能、利用方	策、かつほ	引活力導入	を踏まえ
補助	力金河	舌用	1	ぱし	補助金名										
実	施形	態	\checkmark	市によ	る単独事業		一部	委託		全部委託	ŧ	□ 指定	管理	□協働・協	カ
켷	美託 统	ŧ	□ 第3セクター・財団法人 □ 企業 □ 市民団体・NPO法人												
委託	七業 和	务名													
会計	年度	職員	員 一 人 会計年度職員 業務内容												
2.	事美	(表の	実績		DO						_				
									単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	\ -				指標名				. —	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	関係	団体	との協調	義回数				回	4	10	7		8 8	8
	実績														
	成果	下記	のとお	34											
	実														
	績	外環	上部	九山台	地区利活用に	係るNEX	XCOI	東日本	と協議を	行った。ま	た, 市民の	 ニーズを図	る目的で、	令和5年度	から立ち上
実績	具体的な成果の説明	げたした ● へ ・ A 道 ・ な フ	·公募i うえで i和6年 IEXC(道路 共空 ジャデ	市民にます。 民事業 関東の 関東の 利スス 明 利スス	よる公共空間。 者等と具体的。 経団体との協議 本との対面活用 用プロジェクト 会議 1回、プロ の協議 ない、プロ のは、 のは、 は、 のは、 は、 のは、 は、 のは、 は、 のは、 は、 のは、 の	利活用プ な利活用 襲 襲 関 は で いく ・ 1件 コデュース	ロジェ の可能 訳 1件(対 ための な企画	クトを注 能性に 対面 1)条件! 1回	通して、 ついて 回)、そ(こついて	広場の利活 協議を行った の他(メール	用の可能性こ。	生を確認した			
	<i>y</i> ,	-		-	性について、									1	- m+r
					72 Mr 47				単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	事				予算額				チ円	25	25	27		20	14
	業				決算額 	1.VE			千円	12	10	13		_	執行率
費	費	財力		#± P	一般則		A 104	-/- \	チ円	12	10	13		20	48.1%
用		rJ			がいまた。 大源(国県補助			寺)	千円	0	0	0		0	
	人				度職員数(フ)				人	0	0	0		0	
	件費		2		度職員数(パー)		人	0	0	0		0	
				会	計年度職員人	件費			千円	0	0	0		0	

事業名	外環	蓋掛け上部(丸山台	地区)利用		- 3	算事	業コード	101602	25			
款 02 総務3	費		項	01 総務管	理費	目	08	企画費					
部局名	企画	部		課室名	資産戦略課	担	当名	計画推	進担当				
目標像	2	- 220 - 220 - 220 - 220											
施策番号	2	2 利便性の高い地域公共交通網の形成 枝番号											
3. 事業の評	平価	CHECK											
		評価項目											
必要性	1	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか											
必女圧	A 高	まっている		B 変わら	ない	C 少な	少なくなっている						
	2 [市の役割】事業の実施	主体	として市が通	切ですか				В				
公共性	A 市	が最適である		B 市と他	の主体の協働が適切	C 他の	他の主体が適切						
AAI	3 [市場性】事業は民間市	場で	は十分に提	供されないサービスです	か				A			
	A 民	間では提供困難である)	B 一部民	間でも提供可能である	C 民間	でも+	-分提供可	能である				
	4 (コスト削減】事業のコス	ト削	咸の余地は	ありますか					В			
経済性	A IS	とんどない		B ある程	度ある	C 大い	にある	; ;]			
#± <i>/</i> 月门土	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか									В			
	A 適	切である		B 引き上	げる余地がある	C 引き	下げる	余地があ	る				
事業の見直し	6 [実施方法】現在の事業	実施	手段・方法に	は最も効率的ですか					С			
ナネいル迫し										1 0			

⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうですか 施策への С 貢献度 C あまり貢献していない B やや貢献している 敷地には高低差があり、インフラが引きこまれていない。また、周辺道路の交通量が多いにも係わらず道路付けが悪いなど、利活用するには一定の制約がある。

(業務改善)費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか

B ある程度効率的である

B ある程度効果がある

B まだ改善の余地がある

⑨ 【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか

B ある程度ある

⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか

または改善の余地はありますか

C 改善の余地がある

C あまり効果がない

C 大いにある

C ICT等は活用していない

В

Α

С

4. 今後の方向性

効率性

事業の課題

A 最も効率的である

A 非常に効果が高い

A 行っている

今後の方向性	□ 拡充	□ 継続	☑ 縮小・見直し	□ 休止•廃止	
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等	としていただし、道路占見			その更なる利便性の向上を図ることを D方向性として、利活用の基本方針を	

	事業	名市	内循環	バス運行						予算事業	ミコード	10630	001
款	08	土木費			項 01	道路橋	りょう費			目 04 交通安全対策費			
-	部局	8名 者	邓市整備	部	課	室名	公共	交通政策室	<u> </u>	担当名	公共交通	政策担当	
	目標	像	2 安全	全かつ快適に移	動ができる	る							
於	速策者	番号	2 利何	更性の高い地域	达共交通	網の刑	肜成					枝番	番号 2
1.	事美	業の概要	更	PLAN									
事	務区	[分] 法定员	受託事務		□ 自:	治事務(義務的なも	の)	☑ 自治事	務(任意σ)もの)	
根挑	処法令	令等 和光	光市内循 ³	環バス運行事業	実施要綱、	和光市	内循環	バス運行事	業交付金交	付要綱			
事 3	業の対	対象市内	内循環バス	スを利用する人									
事美	業の目	目的 市内	内拠点まで	での短距離交通が	が充実し、F	日常生活	舌におけ	る外出で使	える交通サ	ナービスが扱	是供されてし	いる。	
活	動概			公共交通計画」はた効率的な運行			環バスの)誰もが迷∤	っずわかり	やすい利用	環境及び情	情報の提供 ^人	や、移動
補具	力金河	舌用	なし	補助金名									
実	施形	態	一市によ	る単独事業	一一部	委託		全部委託			管理 🔽	⅓協働・協	カ
3	委託分	先	」第3セ	クター・財団法人	、			市民団体	k•NPO法人				
委記	毛業 和	務名											
会討	年度	職員 -	- 人	会計年度職員 業務内容									
2.	事美	集の実績	漬	DO	•				_				
							** / 1	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
							田位						
				指標名			単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	年間運行	· 大数	指標名			里位 ——— 便	実績値 7,561	実績値 9,658	実績値 16,194	目標値 16,820	目標値 16,204	最終目標 16,204
	動実	年間運行年間利用		指標名									
	動実績成	年間利用	用者数	指標名			便	7,561	9,658	16,194	16,820	16,204	16,204
	動実績成果実	年間利用	用者数				便人	7,561 146,910	9,658	16,194 164,305	16,820 104,283	16,204 181,000	16,204 181,000
実績	動実績成果実績	年 主 収 令収利1 2 3 4 4 年 1 1 1 2 3 4 4 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 1 2 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用者数 にこのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にないしては、 でんしていかしている。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に		た料金改正 以上の収支 、利用者数)便、利用者 ,999便、利 ,358便、利	E(一般 で率が得 な:56,18 が数:28, 所者者数 用者数	便 人 分 % ・優れ、 ・優れ、 ・9.59,161 ・29,161 ・29,459	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのかに伴う利用 での利用等事事ででのがでいる。 行事業業事ででででででいる。 行事ではできます。 でのができまする。 でのできまする。 でのでのできます。 でのできまする。 でのできまする。 でのできます。 でのできまする。 でのできまする。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのでででのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのできます。 でのでできます。 でのでできます。 でのでできます。 でのでで。 でので。 でので。 でので。 でので。 でので。 でので。 で	9,658 155,366 30 13.7 バス減少を特懸 東武東者:業者:株式:	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短: ホウェスト株式: ウェスト株式:	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性が6 ートの見直	16,204 181,000 10 35.0 与上した。
	動実績成果実績 具体的な成果の説	年 主 収 令収利1 2 3 4 4 年 1 1 1 2 3 4 4 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 1 2 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用者数 にこのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にないしては、 でんしていかしている。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に	ス平均待ち時間 の市内循環バス は、併せとで、想定 2行本数:3,358便 (運行本数:2,999 -ス(運行本数:2,500 -ス(運行本数:2	た料金改正 以上の収支 、利用者数)便、利用者 ,999便、利 ,358便、利	E(一般 で率が得 な:56,18 が数:28, 所者者数 用者数	便 人 分 % ・優れ、 ・優れ、 ・9.59,161 ・29,161 ・29,459	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのかに伴う利用 での利用等 行事業業書 人、運行軍行軍行軍	9,658 155,366 30 13.7 バス減少を特懸 東武東者:業者:株式:	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短: ホウェスト株式: ウェスト株式:	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性が6 ートの見直	16,204 181,000 10 35.0 与上した。
	動実績成果実績 具体的な成果の説明	年 主 収 令収利1 2 3 4 4 年 1 1 1 2 3 4 4 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 1 2 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用者数 にこのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にないしては、 でんしていかしている。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に	ス平均待ち時間 の市内循環バス はたことでで、3,358便 (運行本数:2,999 -ス(運行本数:3 -ス(運行本数:3	た料金改正 以上の収支 、利用者数)便、利用者 ,999便、利 ,358便、利	E(一般 で率が得 な:56,18 が数:28, 所者者数 用者数	便 人 分 % ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのハ にのののでの利用 はいまでののでの利用 はいまでのののでのでのでのでのでのでいます。 には、これでののでのできます。 には、これでののでのできます。 には、これでののでのできます。 には、これでののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	9,658 155,366 30 13.7 バス平均を表表では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた ストストストストストストストストストストストストストストストストストストスト	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性がド ートの見直	16,204 181,000 10 35.0 与上した。 しにより、
	動実績成果実績 具体的な成果の説	年 主 収 令収利1 2 3 4 4 年 1 1 1 2 3 4 4 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 1 2 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用者数 にこのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にこれでのが、 にないしては、 でんしていかしている。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に	ス平均待ち時間 の市内循環パスは、併せてで、想定にたことで、想でで、想定(運行本数: 3,358便(運行本数: 2,999-ス(運行本数: 3-ス(運行本数: 3-ス(運行本数: 3-ス(運行本数: 3-ス)	た料金の 改工の 以上の収支 、利用者数)便、利用用者)の の999便、利月 、3580便、利月 、480便、利月	E(一般 で率が得 な:56,18 が数:28, 所者者数 用者数	便 人 分 % り、、優れた運 ・・29,161 ・・29,459 ・・20,541 単位 千円	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのか にで利用 で利用 で利用 で利用 で利用 で利用 で利用 はよりで で利用 はよりで で利用 はよりで で利用 はよりで で利用 はよりで で で で で で で で で で で で で で で で で で で	9,658 155,366 30 13.7 バス平均待懸 東武東者: 株式式東末式式ま者: 株式式 5年度 64,096 62,947	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた: ストスト本、ウェスウエスト株株 では、大社和和光輸 6年度 93,028 84,652	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性がドートの見直 75,184	16,204 181,000 10 35.0 可上した。 しにより、 不用額 8,376 執行率
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事	年 主 収 令収利12345 別 拠 率 64年者池後山子下 源	日 者 な	ス平均待ち時間の市内循環パスによった。 (選案を表現のでは、1,2,358便(運行本数:2,998年、2,4運行本数:3年、2,40回では、2,40回では、2,40回では、2,40回では、3,40回では	た料金改正 以上の収支 、利用有用利用利用利利 ,999便、利月 ,358便、利月 ,480便、利月	E(一般 定率が得 数:56,18 指数:28, 用者者数 用者者数	便 人 分 % ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのハ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	9,658 155,366 30 13.7 バス 平均を ボス減 八武東者: 業者: ま者:株式式 5年度 64,096 62,947 61,947	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた エストス・コンス・ウェン・ス・ウェン・ス・ストストン・ス・ストストン・ス・会社和光・輸 6年度 93,028 84,652 68,652	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性が「 ートの見直 75,184 - 75,184	16,204 181,000 10 35.0 与上した。 しにより、
	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業	年 主 収 令収利12345 間 要 支 和支用赤越向白坂 年率(者)池後山子下	日 者 で の バ が	ス平均待ち時間 の市内循環バス は、併せとで、3,358便 (運行本数:2,999 -ス(運行本数:2 -ス(運行本数:3 -ス(運行本数:3 -ス(運行本数:3	た料金のでは、 以上の収支 、利用者制 の1999便、利 の3580便、利 の480便、利 の480便、利 利用者負担	E(一般 定率が得 数:56,18 指数:28, 用者者数 用者者数	便 人 分 % り、優れ、人 959人、人 959人、29,161 : 29,459 : 20,541 単位 千 千 円 千 円	7,561 146,910 30 12.8 拠点での/ にでの/ にでの/ での/ での/ での/ での/ での/ ででの/ で	9,658 155,366 30 13.7 パス平均待懸東武東書:株式式東東書:株式式東北共業者:株式式	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた 念していた式ストストストストストストストストストストストストストストストストストストスト	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性がドートの見直 75,184 - 75,184	16,204 181,000 10 35.0 可上した。 しにより、 不用額 8,376 執行率
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業費 人	年 主 収 令収利12345 別 拠 率 64年者池後山子下 源	日本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ス平均待ち時間 の市内循環パスに が施定でで3,358便 (運(重(重で)を数:2,398 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3 -ス(運で)を数:3	た料金の収支 以上の収支 以入利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用利用,358便、利用,480便、利用有負担	E(一般 定率が得 数:56,18 指数:28, 用者者数 用者者数	便 人 分 % リ、優れ、人。 1.55,959,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20,161, 1:20	7,561 146,910 30 12.8 拠点でのハニ 点での利用 記事事子行運行事 大人、運行事 48,821 47,542 47,542 0 0	9,658 155,366 30 13.7 バス 平均を 東:業業者 大スバ武東者:株式 会 5年度 64,096 62,947 61,947 1,000 0	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた エストス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性が「 ートの見直 75,184 - 75,184 0	16,204 181,000 10 35.0 可上した。 しにより、 不用額 8,376 執行率
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業費	年 主 収 令収利12345 別 拠 率 64年者池後山子下 源	日本 を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ス平均待ち時間 の市内循環バス は、併せとで、3,358便 (運行本数:2,999 -ス(運行本数:2 -ス(運行本数:3 -ス(運行本数:3 -ス(運行本数:3	た料金の収支 改工の収支 以上の収支 以利用利用利用利用(,999頃、利利 ,3580便、利利 480便、利利 47ム)	E(一般 定率が得 数:56,18 指数:28, 用者者数 用者者数	便 人 分 % り、優れ、人 959人、人 959人、29,161 : 29,459 : 20,541 単位 千 千 円 千 円	7,561 146,910 30 12.8 拠点での/ にでの/ にでの/ での/ での/ での/ での/ での/ ででの/ で	9,658 155,366 30 13.7 パス平均待懸東武東書:株式式東東書:株式式東北共業者:株式式	16,194 164,305 22 20.8 5時間の短いた 念していた式ストストストストストストストストストストストストストストストストストストスト	16,820 104,283 15 29.7 縮が図られが、運行ル 会社会社) -株式会社 送)	16,204 181,000 15 35.0 利便性がドートの見直 75,184 - 75,184	16,204 181,000 10 35.0 可上した。 しにより、 不用額 8,376 執行率

事業名	市内循環バス運行	予算事業コード	1063001
款 08 土木3	B	項 01 道路橋りょう費 目 04 交通安全対策費	
部局名	都市整備部	課室名 公共交通政策室 担当名 公共交通政策	 6担当
目標像	2 安全かつ快適に移	かができる	
施策番号	2 利便性の高い地域	会共交通網の形成	枝番号 2
3. 事業の評	平価 CHECK		
		評価項目	評価
N = 14	①【今後の必要性】行政の	设割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	
必要性	A 高まっている	B 変わらない C 少なくなっている	Α
	②【市の役割】事業の実施	上体として市が適切ですか	
/\	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切 C 他の主体が適切	A
公共性	③【市場性】事業は民間市	まった。 場では十分に提供されないサービスですか	
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である C 民間でも十分提供可能であ	აგ A
	④【コスト削減】事業のコス	削減の余地はありますか	
AT 1-1-11	Α ほとんどない	B ある程度ある C 大いにある	Α
経済性	⑤【コスト】受益者負担のス	準は適切ですか	
	A 適切である	B 引き上げる余地がある C 引き下げる余地がある	A
5 # の日末!	⑥【実施方法】現在の事業	実施手段・方法は最も効率的ですか	
事業の見直し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である C 改善の余地がある	В
	⑦【費用対効果】投入コス	に対して得られる効果は適切ですか	
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある C あまり効果がない	A
効率性	⑧ 【業務改善】費用対効果または改善	時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行ってい の余地はありますか	いますか B
207 T	A 行っている	B まだ改善の余地がある C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか	А
	A ほとんどない	B ある程度ある C 大いにある	^
施策への	⑩【達成度】施策の目標達	艾に向けて事業の貢献の度合いはどうですか	А
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している C あまり貢献していない	
事業の課題		こって、拠点までの短距離交通の充実を図ったが、利用者数及び収支率 情報提供の充実や、利便性の向上が課題である。また、運転手不足によ 必要である。	
1. 今後のブ	方向性 ACTION		
今後の方向性	□ 拡充	継続 ニュニ ニュニ ニュー ニュー ニュー ホー・ 廃止 エー・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル・ アル	

今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等

	事業	名	也域公共	交通					予算事業		1172	200
款	08	土木費			項 01 道	[路橋りょう費			目 04 交	通安全対策	策費	
	部局	3名	都市整備	部	課室	全名 公共	交通政策室	Ē	担当名	公共交通	政策担当	
	目標	票像	2 安全	全かつ快適に	移動ができる	ı						
方	策	番号	2 利化	更性の高い地	地域公共交通網	圏の形成					枝和	番号 3
<u>1.</u>	事	集の概	要	PLAN								
事	務区	[分] 法定领	受託事務		自治事務(、義務的なも	の)	☑ 自治事	幕務(任意 <i>σ</i>)もの)	
根技	処法*	令等 地	或公共交	通の活性化及	び再生に関する	法律、和光下	市公共交通:	空白地域タ	クシー利用	料金助成事	事業実施要	綱
事	業の対	対象市	内を移動す	する人								
事	業の	目的 全	ての市民の	の移動の自由の	の確保に向けて	、利便性の高	高い地域公	共交通網が	形成されて	いる。		
活	動概	要 クを	維持•充	実させるための	の確保を目指し の施策の実施や 業の事業化を図	地域公共交 るため、市民	通会議での との意見交	協議調整を 換や事業を	する。さら1 者との連携	こ、市内拠点を実施する。	点間の交通 。	軸として
補具	り金え	活用	あり	補助金名		整備総合交付 ス導入促進						
実	施形	態	一市に	よる単独事業	☑ 一部委		全部委託			_	協働・協	
į	委託会	先 [」第3セ	クター・財団法	大 🗹 企業		市民団体	▼・NPO法人				
委詞	毛業	務名 る刻			業務委託料、自動 計查業務委託料、決							
会計	十年度	職員	- 人	会計年度職 業務内容								
2.	事	業の実	績	DO								
						単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				指標名		平位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	地域公	共交通会	議の開催数		回	3	2	3	3	3	3
	実績	公共交	通研究会	•住民説明会等	等の開催数	回	11	5	5	7	10	2
	成	公共交	通空白・オ	 F便地域の居住	主人口の割合	%	28.4	19.6	19.6	19.6	19.6	10
	果実											
	績	1 地域	公共交通	全議における	協議事項等							
実績		•第12			の運行実績及び	計画につい	て、東武バス	スウエスト株	式会社ので	市内循環バ	スからの撤	退につい
小貝	具体的	•第14		市地域公共交流	の市内循環バス 通会議会長の選				間評価にて	ついて、和党	光市地域公	共交通計
	な成果	2 公共	交通研究	?会•住民説明	会等の概要 ークショップ(バス	ス停留所の案	内表記につ	ついて、運行	·見直し後 <i>0</i>)市内循環	バスの課題	等につい
	の説明	て) ・住民	説明会(詞	計4回開催、自	動運転バス2期	社会実証の概	既要について	C)				
			専用車線		における自動選 バス停6箇所を			∠2走行によ	る社会実証	E及び路車† -	劦調システ.	ム実証実
						単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
				予算額		千円	261,351	294,693	225,944		6,517	17,810
	事								000404			執行率
				決算額		千円	221,614	265,119	208,134		0	拟1丁平
費	事業 費	財源 内訳		決算額 一般則	才源 	千円	221,614 38,905	265,119 41,128	19,653		5,967	92.1%

人

人

千円

0

0

会計年度職員数(フルタイム)

会計年度職員数(パートタイム)

会計年度職員人件費

人件費

事業名	事業名地域公共交通						予算事業コード			117220	0
款 08 土木費	款 08 土木費 項					りょう費	目	04	交通安全対	対策費	
部局名	部局名 都市整備部					公共交通政策室	担	当名	公共交	通政策担当	
目標像	2	安全かつ快適	に移動が	でき	る						
施策番号	2	利便性の高い	地域公共	交通	通網の形	成				枝番	号 3
3. 事業の評価 CHECK											
					評価項目						評価

0. 予末の品	- IIII OTILOR	
	評価項目	評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	Α
必安压	A 高まっている B 変わらない C 少なくなっている	
	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか	В
公共性	A 市が最適である B 市と他の主体の協働が適切 C 他の主体が適切	Ь
公共任	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか	В
	A 民間では提供困難である B 一部民間でも提供可能である C 民間でも十分提供可能である	Ь
	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか	Α
経済性	A ほとんどない B ある程度ある C 大いにある	A
在月往	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか	Α
	A 適切である C 引き下げる余地がある C 引き下げる余地がある	A
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか	Α
ず未の元旦し	A 最も効率的である C 改善の余地がある	^
	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか	Α
	A 非常に効果が高い B ある程度効果がある C あまり効果がない	^
効率性	(書務改善)費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますかまたは改善の余地はありますか	Α
	A 行っている B まだ改善の余地がある C ICT等は活用していない	
	⑨ 【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか	В
	A ほとんどない B ある程度ある C 大いにある	D
施策への	⑩ 【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうですか	Α
貢献度	A 貢献している B やや貢献している C あまり貢献していない	
事業の課題	公共交通空白・不便地域について、市内循環バスのみでの解消は困難であることから、当該バスに代替する他の交通手段に 策の実施が必要である。また、公共交通の運転手不足が課題であり、課題解決に向けての自動運転サービス導入事業に関 等への周知・理解醸成が不足しているため、説明会等により更なる周知・理解を進めていく必要がある。	

4. 今後の方向性 ACTION

今後の方向性	☑ 拡充	□ 継続	□ 縮小・見直し	□ 休止·廃止	
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等	計画策定にむけて評 入事業は、大型EV/ 動運転レベル4(一部	価検証を行い、より利係	更性が高く持続可能な地域公共交 ル2の社会実証及び社会実装を紹	刃光市地域公共交通計画について、炎 通を目指す。また、自動運転サービス 逢て、安全性及び効果を検証した後に	く導

14	事業	名	交通安	全対策						予算事業	ミコード	10620	001
款	80	土木	費		項	01 道路標	喬りょう費			目 04 交	通安全対	策費	
i	部局	名	都市整	備部		課室名	道路:	安全課		担当名	交通安全	担当	
	目標	像	2 3	そ全かつ快通	節に移動が	できる							
施	策	番号	3 3	を 通安全対策	きの推進							枝看	番号 1
1.	事詞	集の	概要	PLAN									
事	務区	分	□ 法5	三受託事務			治事務(義務的なも	の)	☑ 自治事	■務(任意の	のもの)	
根挑	见法~	令等	交通安全:	対策基本法、	和光市交通	i安全活動專	事業費補	助金交付要	綱				
事第	美の対	対象 -	一般市民	交通安全対	策事業推進	団体							
事第	美の[目的	機関∙団体	が連携を図り	り、交通安全	意識の高捷	場と市内に	こおける交通	通事故の撲	滅を目指す	•		
活	動概	要	季節ごとに	行われる交通	通安全運動	を効果的に	展開し、	市民総ぐる。	みで交通安	'全対策を推	進する。		
	力金》		なし	補助金名									
	施形			よる単独事業		一部委託		全部委託			管理	☑ 協働・協	カ
3	託	ŧ	□ 第3	セクター・財団	∃法人 □	企業		市民団体	k•NPO法人				
委託	£業	务名											
会計年度職員 一 人 会計年度職員 業務内容													
2.	事詞	集の	実績	DO					<u>.</u>			_	
							単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	Ţ			指標名			. –	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	交通	安全運動	街頭啓発活動	b		回	0	3	4	3	4	4
	実績												
	成果	市内	交通事故	人身事故件数	τ		件	249	213	183	0	0	0
	実績	市内	交通事故	 死者数			人	2	0	0	0	0	0
Ð	裉												
実績	具体的な成果の説明	交通 交通 への	安全対策 安全教室 自転車の	活動についてのための注意については、 通行方法指導 数人身事故件	看板を、6 警察及び学 を実施。そ	枚設置した。 校と連携し の他、みな	。 市内9校 み保育園	の小学校に 図では横断が	おいて、1 ⁴ 歩道の渡り	年生への横 方指導を実	施した。		
							単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
	予算額						千円	31,909	30,055	36,645		36,458	6,180
	事 業						千円	29,641	25,838	30,465			執行率
費	費	財派内部		<u>.</u>	投財源 	I	千円	14,641	25,838	7,223		10,958	83.1%
用		四百	177	宝財源(国県補			千円	15,000	0	23,242		25,500	
	人			年度職員数(人	0	0	0		0	
	件費			年度職員数(/		()	人	0	0	0		0	
				会計年度職員	人件費		千円	0	0	0		0	

事業名	交通安全対策		事業コード 1062001								
款 08 土木費	Ī		04 交通安全対策費								
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課 担当	当名 ▼交通安全担当								
目標像	2 安全かつ快適に移動	かできる									
施策番号	3 交通安全対策の推議	<u> </u>	枝番号 1								
3. 事業の評	CHECK										
		評価項目	評価								
必要性	①【今後の必要性】行政の	役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いで 	すか 								
20.女正	A 高まっている	B 変わらない C 少なく7	なっている								
	②【市の役割】事業の実施	E体として市が適切ですか	В								
公共性	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切 C 他の主									
公共任	③【市場性】事業は民間市	場では十分に提供されないサービスですか 	В								
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である C 民間で	も十分提供可能である								
	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか										
経済性	A ほとんどない	B ある程度ある C 大いに	B :ත්රි								
性/月1工	⑤【コスト】受益者負担の水	準は適切ですか	A								
	A 適切である	B 引き上げる余地がある C 引き下	げる余地がある								
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業	に施手段・方法は最も効率的ですか	В								
サ末の元担し	A 最も効率的である	B ある程度効率的である C 改善の)余地がある								
	⑦【費用対効果】投入コスト	に対して得られる効果は適切ですか	В								
	A 非常に効果が高い		効果がない								
効率性		時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセ D余地はありますか	zスの改善を行っていますか C								
777 T.	A 行っている	B まだ改善の余地がある C ICT等	は活用していない								
	⑨【事業規模の縮小】他事	業や他機関との連携・統合による効率化の可能性は	:ありますか B								
	Α ほとんどない	B ある程度ある C 大いに									
施策への	⑩【達成度】施策の目標達	②【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうですか									
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している C あまり	直献していない								
事業の課題	通安全事業推進団体会員の高齢化や新規加入者減少が年々進行しており、交通安全対策の担い手が減少して。 。										

今後の方向性	□ 拡充	⊻ 継続	□ 縮小・見直し	□ 休止・廃止	
今後の方向性 の判断理由・ 今後の取組等	例年交通安全		iは継続的に行うことが重要である□え、その他の世代へも交通安全:	。 運動等を通して啓発活動を行ってい	١٧.

3	事業	名	駅下	有口自	転車駐車:	場管理道	里 営				予算事業	ミュード	10640	001
款	80	土木	費			Ī	頁 01 道路	橋りょう費			目 04 交	通安全対	策費	
ž	部局	名	都市	市整備	部		課室名	道路:	安全課		担当名	交通安全	担当	
	目標	像	2	安全	全かつ快通	で移動	ができる							
施	策者	野号	3	交ì	通安全対策	の推進							枝看	番号 2
1.	部局名 都市整備部 課業名 追路安全課 担当名 交通安全担当 「日本学の概要 日本学校の概要 日本学校の概要 日本学校 日本学校													
事	図													
根拟	见法令	令等	なし											
事業	美の対	付象	利用											
事業	美の 目]的	自転車	車駐車	場利用者が	安全では	・適に利用で	きるように	する。				_	
							り、利用しや	すいよう管	曹•運営に	努める。				
								_						
												管理	」協働・協	カ
委	託先							<u>>₩ п+</u>				# 7년 Jin 11		
委託業務名 点検業務、ラック保守点検業務、給排気設備保守点検業務、機械警備業務、自家用電気工作物保安管理業務 備点検及び保守業務、和光市駅南口自転車駐車場内清掃業務														
2.	事第	色の	実績		DO								-	
								単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
	'T				指標名			'-	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	動	自転	車駐	車場使	用料			千円	88,463	89,753	92,153	90,000	90,000	90,000
		自転	車駐	車場利	用者数(定	朝)		人	28,708	29,325	28,801	29,500	29,500	29,600
		自転	車駐	車場稼	働率(定期)			%	89.6	96.7	95	97	97	98
		自転	車駐	車場利	用台数(一日	侍)		台	162,089	169,884	181,284	170,000	170,000	160,000
実績	体的な成果の説	手し	<i>t</i> =。										注車場所の	制限に着
								単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額
					予算額	i		千円	51,292	65,860	51,662		52,449	3,435
	事業				決算額	1		千円	50,142	62,040	48,227		0	執行率
弗	費	財			— <u>А</u>	段財源		千円	5,350	0	0		3,449	93.4%
費用		内	九	特定則	才源(国県補	助、利用	者負担等)	千円	44,792	62,040	48,227		49,000	
	人			会計年	度職員数(フルタイ	۵)	人	0	0	0		0	
	件費		1	会計年	度職員数(/	パートタイ	ム)	人	0	0	0		0	
	貝			会	計年度職員	人件費		千円	l o	0	0		0	

事業名	08 土木費 項 01 道路橋りょう費							算事	業コード 1	064001	
款 08 土木費	ŧ		項	01	道路橋は	りょう費	目	04	交通安全対策費		
部局名	部局名 都市整備部					道路安全課	担	当名	交通安全担当		
目標像	2	安全かつ快適に移	動が	でき	る						
施策番号	3	交通安全対策の推	進							枝番号	2
2 車業の部	T /AT	CHECK									

3. 事業の評価

0. 予末の品	Official			
		評価項目		評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対	する市民の期待及び需要の程度	は高いですか	Α
必安に	A 高まっている B	変わらない	C 少なくなっている	ζ
	②【市の役割】事業の実施主体として	て市が適切ですか		Α
公共性	A 市が最適である B	市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	Α
公共住	③【市場性】事業は民間市場では十	分に提供されないサービスですか	١	С
	A 民間では提供困難である B	一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	C
	④【コスト削減】事業のコスト削減の	余地はありますか		۸
経済性	A ほとんどない B	ある程度ある	C 大いにある	Α
在月生	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切	刀ですか		В
	A 適切である B	引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	Ь
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段	・方法は最も効率的ですか		С
尹未の元旦し	A 最も効率的である B	ある程度効率的である	C 改善の余地がある	O
	⑦【費用対効果】投入コストに対して	得られる効果は適切ですか		Α
	A 非常に効果が高い B	ある程度効果がある	C あまり効果がない	A
効率性	8 【業務改善】費用対効果、時間対象 または改善の余地は		業務ブロセスの改善を行っていますか	В
*** 12	A 行っている B	まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	1
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機	関との連携・統合による効率化の	可能性はありますか	В
	A ほとんどない B	ある程度ある	C 大いにある	נ
施策への	⑩【達成度】施策の目標達成に向け	て事業の貢献の度合いはどうです	すか	Α
貢献度	A 貢献している B	やや貢献している	C あまり貢献していない	^
事業の課題	より効率的で利用者へのサービス向」 め、適切なメンテナンスと設備更新に記		要である。また、設備の老朽化が進んでし	いるた

4. 今後の方向性 ACTION

今後の方向性	□ 拡充	☑ 継続	□ 縮小・見直し	□ 休止·廃止
	一時使用台数 ながら場内の 利用者が多く	女については、一部車種の受入 安全確保を優先し、段階的にE	れ台数超過による狭あいの状況	た自転車駐車場として設置している。 記は継続しており、業務委託先の理解を得 続する。

	事業	名	放置	置自転	車対策						予算事業	(ロード	10640	002
款	08	土木	費			項	01 道路村	喬りょう費			目 04 交	通安全対	策費	
i	部局	名	都下	†整備	部		課室名	道路	安全課		担当名	交通安全	担当	
	目標	像	2	安全	上かつ快適	に移動が	できる	•		•				
施	速策者	番号	3	交通		の推進							枝看	番号 3
1.	部局名 都市整備部 課業名 過路安全課 担当名 交通安全担当 目標像 2 安全かつ快適に移動ができる 施策番号 3 逐連全対策の推進 検番号 3 医子科の 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1													
事	10 10 12 12 13 14 13 15 15 15 15 15 15 15													
根拠	処法 4	令等	なし											
事業	集の対	対象	一般市	市民等										
事第	業の国	目的	放置為	禁止区 北	 或の公共空	間を保持し	、また環境	美化を促	進する。					
活	動概	要	放置為	禁止区址	 或において∫	月4回程度	の放置自転	記車等の 指	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
2亩日	由全等	壬田	#	והי	補助 全夕									
11.5		_,,,					一部委託	Г	全部委託	 F.		管理	協働∙協	ታ
		_					1						נונון נאבן נינון	,,
委託	七業	 络名							- 11-24-11		·			
会計														
_	車台	<u></u>	生结		DO									
<u> </u>	777	K 07	大限		DO				4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
					上 指標名			単位						
		物土	の回ぎ	<u></u> έπ	74 124 4			П						
	績			3 数					209	177	184	180	180	
	果	返還	台数					台	62	55	64	55	55	70
実績	体的な成果の説	積						% %)放置自朝 転車駐車	場の利用が	ド況も好調 つ	であることか	いら、公営の		
		ı							4年度	5年度				不用額
	毒								,	,			8,388	
業							,	,			-			
費 財源 一般財源				v 4z 1m 44z v						<u> </u>	97.5%			
用		17 31							,	,			\vdash	
	人				度職員数(人	0	0	0		0	
	件費		3		度職員数(ノ゚ 		()	人工四	0	0	0		0	
				云	計年度職員	八計貨		千円	0	0	0		0	

事業名	放置自転車対策		予算事業コード 1064002	2					
款 08 土木費	Į	頁 01 道路橋りょう費	目 04 交通安全対策費						
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名 交通安全担当						
目標像	2 安全かつ快適に移動	ができる							
施策番号	3 交通安全対策の推進		枝番5	号 3					
3. 事業の評	CHECK								
		評価項目		評価					
必要性	①【今後の必要性】行政の役	割に対する市民の期待及び需要の程度は	は高いですか	В					
2031	A 高まっている	B 変わらない C	こ 少なくなっている	D					
	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか								
公共性	A 市が最適である		こ 他の主体が適切						
ANI	③ 【市場性】事業は民間市場	では十分に提供されないサービスですか		В					
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である C	こ 民間でも十分提供可能である						
	④【コスト削減】事業のコスト	削減の余地はありますか		В					
経済性	A ほとんどない	B ある程度ある C	こ 大いにある						
小主 <i>八</i> 月 1工	⑤【コスト】受益者負担の水準	■は適切ですか		В					
	A 適切である	B 引き上げる余地がある C	こ 引き下げる余地がある						
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実	施手段・方法は最も効率的ですか		В					
事未以元直0	A 最も効率的である	B ある程度効率的である C	こ 改善の余地がある						
	⑦【費用対効果】投入コストに	二対して得られる効果は適切ですか		В					
	A 非常に効果が高い		こあまり効果がない						
効率性		時間対効果に対してICT等の活用による業)余地はありますか	務プロセスの改善を行っていますか	В					
刈平注	A 行っている		C ICT等は活用していない	Б					
	⑨【事業規模の縮小】他事業	や他機関との連携・統合による効率化ので	可能性はありますか	_					
	A ほとんどない	B ある程度ある C	こ 大いにある	Α					
 施策への	⑩【達成度】施策の目標達成	に向けて事業の貢献の度合いはどうです	<i>τ</i> ν	_					
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している C	こ あまり貢献していない	Α					
士坐 か田 田									
事業の課題		「自転車と形態が異なったり、区別がつきに がら対応を進めていく必要がある。	こくいものも増加してさているため、中と	すでの音					
4. 今後の方	方向性 ACTION	_	_						
今後の方向性	□ 拡充 ☑	継続 □ 縮小・見直し	□ 休止・廃止						
	撤去数の増加等の変化に注意	しながら、このまま継続する。	_						
今後の方向性									
の判断理由・ 今後の取組等									

:	事業	名	交通安全	施設整備					予算事業	ミコード	11720	002
款	80	土木	費		項 01 道路村	喬りょう費			目 04 交	通安全対	策費	
	部局	名	都市整備	部	課室名	道路	安全課		担当名	交通安全	:担当	
	目標	像	2 安	全かつ快適に	移動ができる							
旅	10策	番号	3 交	通安全対策 <i>σ</i>)推進						枝看	番号 4
1.	事第	集の権	既要	PLAN								
事	務区	分	□ 法定	受託事務	☑ [1治事務(義務的なも	の)	□ 自治事	務(任意の)もの)	
根挑	処法令	令等 泊	道路法									
事美	業の対	対象 -	一般市民									
事業	業の目	目的;	道路利用者	の安全対策を	図る。							
活	動概	i要 i	道路交通に		安全施設(路面表示	•道路反	射鏡等)を整	と備すること	こにより、交	通事故を防	近する。	
	力金 活		なし 	補助金名								
	施形			よる単独事業	一一一一一一一一一		全部委託			管理 [□協働・協	カ
73	委託分	先	□ 第3七	クター・財団法	長人 □ 企業		市民団体	▼•NPO法人	•			
委記	毛業 系	務名										
会計年度職員 — 人 会計年度職員 業務内容												
2.	事美	集の国	実績	DO							_	
							4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
						畄位	44段	0千尺	0十尺	0千皮	7千皮	12 1 /2
				指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動	路面	標示の施工			単位 箇所					目標値	最終目標
	動実						実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	動実績成	道路		置及び修繕		箇所	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値 15 30	最終目標 15
	動実績	道路	反射鏡の設	置及び修繕		箇所 基	実績値 4 20	実績値 12 17	実績値 10	目標値 15 30	目標値 15 30	最終目標 15 30
実績	動実績成果実績 具体的な成果の説	道路	反射鏡の設 標示の施工 照明射 照明射示 照明 「、道」	箇所 置及び修繕 総延長 設置置るの線 の線 の線 の線 である。 でも、安全 でも、でき	撤去 1箇所 撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ る視界の確保や路 きへの適切な施工が 実施している)	箇所 基 m 修繕 1 マ字 1,	実績値 4 20 816 11箇所 1004.7m	実績値 12 17 1,688 カラー標示	実績値 10 11 3,007 22.1㎡	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 Om	最終目標 15 30 7,000
	動実績成果実績 具体的な成果の説	道路	反射鏡の設 標示の施工 照明射 照明射示 照明 「、道」	箇所 置及び修繕 総延長 設置置るの線 の線 の線 の線 である。 でも、安全 でも、でき	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ 5視界の確保や路配	箇所 基 m 修繕 1 マ字 1,	実績値 4 20 816 11箇所 1004.7m	実績値 12 17 1,688 カラー標示	実績値 10 11 3,007 22.1㎡	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 Om	最終目標 15 30 7,000
	動実績成果実績 具体的な成果の説明	道路	反射鏡の設 標示の施工 照明射 照明射示 照明 「、道」	箇所 置及び修繕 総延長 設置置るの線 の線 の線 の線 である。 でも、安全 でも、でき	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ 5視界の確保や路配	簡所 基 m 修繕 修等 1. で字等 1. で字 で字 です。 できた。	実績値 4 20 816 816 11箇所 1004.7m よる注意喚起	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 では目標値	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 Om 安全施策を	最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示
	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事	道路	反射鏡の設 標示の施工 照明射 照明射示 照明 「、道」	箇所 置及び修繕 総延長 設置 3箇所所 3箇所 1, 路反射鏡による たり、安全を多く	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ 5視界の確保や路配	箇所 基 m 修繕 1, で字 1, で字 1,	実績値 4 20 816 816 11箇所 1004.7m よる注意喚起 た。(施工系	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 では目標値	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 Om 安全施策を いるが、カー	最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明	道路 道道道 道た道及 財派	反射 標示 照 標 標 標 無 標 年	箇所 置及び修繕 総延長 設置置の破 3 0 0 0 線 3 0 0 線 5 0 の線 7 での施工を多く でも、安全を多く 下の施工を多く 下の施工を多く	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ る視界の確保や路配 きへの適切な施工が 実施している)	簡所 基 m 修修等 1. で字 で字 で字 で字 でった れ が と で う れ で う れ う れ う し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し	実績値 4 20 816 816 11箇所 1004.7m よる注意喚起 た。(施工及 4年度 18,872	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい 5年度 20,632	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 では目標値 6年度 18,817	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 Om 安全施策を いるが、カー	最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示 不用額 2,303
	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業	道 路 道道道 道た道及 道た道及	反射鏡の施工照反標示明射鏡が、近いで変換ができます。	箇所 置及び修繕 総延長 3 0 破 3 0 破 5 間 5 間 6 で 7 で 7 に 8 で 7 に 8 で 8 で 8 で 8 で 9	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ る視界の確保や路配 きへの適切な施工が 実施している)	箇所 基 m 修修等 1, で な字 で で 字 に よ る れ と で う れ た う れ う れ う し う し う れ う く う し う し う し う し う し う し う し う し う し	実績値 4 20 816 816 11箇所 1004.7m よる注意喚起 た。(施工及 4年度 18,872 14,846	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい 5年度 20,632 19,982	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 では目標値 6年度 18,817 16,514	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 0m 安全施策を いるが、カー	最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示 不用額 2,303 執行率
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業費 人	道路 道道道 道た道及 財派	反射鏡の施工 照反標 明射示 灯 に文字 特定 特定 原尺	箇所 置及び修繕 総延長 3 0 破 3 0 破 5 間 5 間 6 で 7 で 7 に 8 で 7 に 8 で 8 で 8 で 8 で 9	撤去 1箇所 980.0m 矢印・ダ る視界の確保や路配 きへの適切な施工が 実施している)	箇所基 m修修等「標準」「標準」「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」<l< th=""><th>実績値 4 20 816 816 1箇所 1箇所 1004.7m たる注意喚起 た。(施工委 4年度 18,872 14,846 5,651</th><th>実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい 5年度 20,632 19,982 11,752</th><th>実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 ては目標値 6年度 18,817 16,514 3,853</th><th>目標値 15 30 7,000 線消去 上のための</th><th>目標値 15 30 7,000 0m 安全施策を いるが、カー 7年度 18,817 - 3,617</th><th>最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示 不用額 2,303 執行率</th></l<>	実績値 4 20 816 816 1箇所 1箇所 1004.7m たる注意喚起 た。(施工委 4年度 18,872 14,846 5,651	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい 5年度 20,632 19,982 11,752	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 ては目標値 6年度 18,817 16,514 3,853	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 0m 安全施策を いるが、カー 7年度 18,817 - 3,617	最終目標 15 30 7,000 実施し ラー標示 不用額 2,303 執行率
積	動実績成果実績 具体的な成果の説明 事業費	道路 道道道 道た道及 財派	反標 照反標 照 標矢 原尺標 明射示 灯鏡 灯 に文字 特 会計 会計 会計 の おり おり かり	箇所 置及び修繕 総延長 3箇置で破り 30箇線・1の場合でする でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのができる。 でするのできる。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です	撤去 1箇所 980.0m 矢印・交 5視界の確保や路配 (簡所 基 m 修修字 宗示によれ が修存 によれ が作為 が作為 が作為 ができる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	実績値 4 20 816 11箇所 1箇所 1004.7m はる注意喚起 た。(施工 4年度 18,872 14,846 5,651 9,195	実績値 12 17 1,688 カラー標示 起により、交 延長につい 5年度 20,632 19,982 11,752 8,230	実績値 10 11 3,007 22.1㎡ 通事故防」 では目標値 6年度 18,817 16,514 3,853 12,661	目標値 15 30 7,000 線消去 上のための	目標値 15 30 7,000 0m 安全施策を いるが、カー 18,817 - 3,617 15,200	最終目標 15 30 7,000 字 声 一標示 不用額 2,303 執行率 87.8%

事業名	交通安全施設整備		予算事業コード 1172	002						
款 08 土木	費項	01 道路橋りょう費	目 04 交通安全対策費							
部局名	都市整備部	課室名 道路安全課	担当名 交通安全担当							
目標像	2 安全かつ快適に移動が	できる								
施策番号	3 交通安全対策の推進		枝	番号 4						
3. 事業の評	平価 CHECK									
		評価項目		評価						
V == W	①【今後の必要性】行政の役割	 に対する市民の期待及び需要の)程度は高いですか	В						
必要性	A 高まっている B 変わらない C 少なくなっている									
	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか									
A 11 M	A 市が最適である B 市と他の主体の協働が適切 C 他の主体が適切									
公共性	③【市場性】事業は民間市場で	ー は十分に提供されないサービス [・]	ですか							
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能であ	ある C 民間でも十分提供可能である							
	④【コスト削減】事業のコスト削	減の余地はありますか		A						
Λ α > + Ι.μ.	A ほとんどない B ある程度ある C 大いにある									
経済性	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか									
	A 適切である	C 引き下げる余地がある								
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか									
尹未の兄担し	A 最も効率的である B ある程度効率的である C 改善の余地がある									
	⑦【費用対効果】投入コストに対	付して得られる効果は適切ですか		А						
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない							
###		間対効果に対してICT等の活用に ≷地はありますか	こよる業務プロセスの改善を行っていますだ							
効率性	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	В						
	⑨【事業規模の縮小】他事業や	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	率化の可能性はありますか							
	Α ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	_ A						
施策への	⑩【達成度】施策の目標達成に	向けて事業の貢献の度合いはど	うですか	_						
貢献度	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない							
事業の課題	道路パトロールや市民要望等によいない。	より、交通安全施設の適宜改善を		は至って						
1. 今後のブ	方向性 ACTION									
今後の方向性	□ 拡充 ☑ 組	ዾ続 □ 縮小・見	直し							
)指定状況を基に、計画的な整備	を継続し、交通事故等の抑制の一助とな [、]	るように努						
テ後の方向性 の判断理由・ テ後の取組等										